株式会社 エム・システム技研

取扱説明書

瞬停処理シーケンサ 19RD

このたびは、エム・システム技研の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

概　要

主な機能と特長

●瞬停時の再起動リレー ●電圧低下を検出し、設定時間内に復電すれば、再起動設定時間後ワンショットパルスを出力 ●ノイズによる誤動作を防ぐために、ロジック回路（フリップフロップ回路）なしで回路を構成

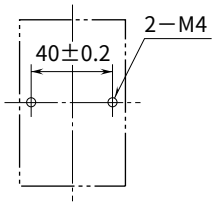
アプリケーション例

●瞬停後の復電時に、工場全体のモータが同時に再起動すると起動電流が重なって、発変電設備が容量不足に陥いります。19RDによりモータの再起動時間を分散させれば、自動再起動が可能になります。 ●コンピュータシステムの瞬停時に、コールドスタートをするか、ホットスタートをするかを設定するタイマとして使用

設　置

設置には次のような場所をお選び下さい。
●屋内で、周囲温度が -10 ～ +45℃の場所
●湿度が 45 ～ 85 %RH で、結露しない場所
●雨や水のかからない場所
●腐食性ガス、粉塵や振動のない場所
取付は、壁取付または DIN レール取付が行えます。
壁取付は下図の要領で行って下さい。

取付寸法図（単位：mm）

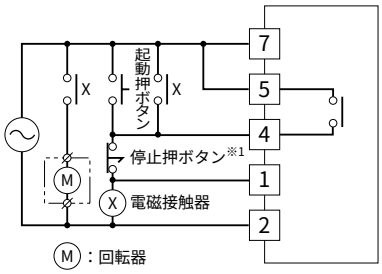


・密着取付可能

接　続

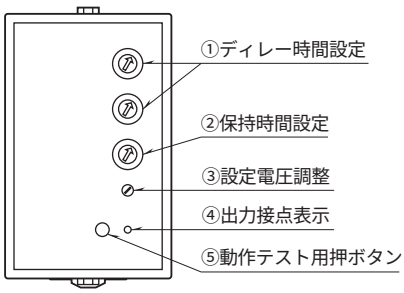
各端子の接続は下図の要領で行って下さい。

端子接続図



※1、停止スイッチはロック付、またはオルタネート形を使用して下さい。
（機器停止時に瞬停が起きると機器に通電するのを防止します。）

各部の名称および設定方法



①ディレー時間設定　$T_D \times 1$ s、$T_D \times 10$ s（再起動時間）*1
停電復帰よりワンショット出力するまでの時間(長時間タイプ0～60秒　短時間タイプ0～9秒)を設定します。
②保持時間設定　$T_H \times 1$ s（瞬停時間）*1
瞬停であると判断する時間（0～6秒）を設定します。
③設定電圧調整（Vs）
停電とみなす電圧レベルを設定します。
K **電源（**AC　85～132 V**）のとき**　AC　50～　90 V
L **電源（**AC 170～264 V**）のとき**　AC 100～180 V
④出力設定表示
出力動作を表示します。（オンのとき点灯）
⑤動作テスト用押ボタン（TEST）
運転中にディレー時間の確認が行えます。
（保持時間の確認はできません。）
＊1、解説参照

点　検

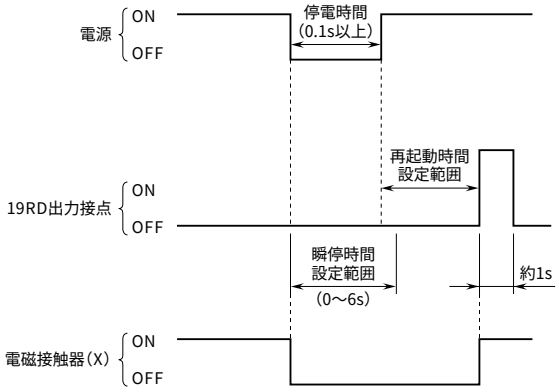
①端子接続図に従って結線がされていますか。
②供給電源の電圧は正常ですか。
端子番号②－⑦間をテスタの電圧レンジで測定して下さい。
③出力負荷は正常ですか。
AC 250 V　1 A **以下であれば正常です。**

保　証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。

解　説

■瞬停の場合：**瞬停時間が瞬停時間設定値を超えない場合、瞬時停電と判断し、再起動設定時間後** 19RD **の再起動ワンショット接点（出力接点** ON**）が出力されます。**
（注1）停電が0.1**秒以下の場合、停電を検出できないので瞬停時間設定値以内でも再起動動作しないことがあります。**



■停電の場合：**停電時間が瞬停時間設定値を超える場合、瞬時停電ではなく停電と判断し、再起動ワンショット接点は出力しません。**
（注2）瞬停時間設定値を「0」としても 0.2 **秒以下の停電の場合、再起動動作をする場合があります。**